

# 第46回

【地域別】

## 市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成 24 年 8 月 18 日

○会 場 緑 町 コミュニティセンター

武 蔵 野 市



## ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」「災害時に試される地域力」などを開催しています。また、学生やシニアの方たちとまちづくりや活躍の場などについて意見交換を行いました。

今回は、緑町コミュニティ協議会との共催により、「第46回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長 **邑上守正**

## 概 要

1. 日 時 平成24年8月18日(土)  
午後1時30分～3時30分
2. 場 所 緑町コミュニティセンター
3. 主 催 緑町コミュニティ協議会・武蔵野市
4. 参加者数 73人
5. 主催側出席者 市長 邑上 守正  
緑町コミュニティ協議会 委員長 越智 正子  
企画政策室長 小森 岳史  
環境生活部環境政策担当部長 郡 護  
環境生活部参事 木村 浩  
(兼新クリーンセンター建設担当課長事務取扱)  
市民協働推進課長 森安 東光
6. 司 会 緑町コミュニティ協議会協力員 塩澤 誠一郎  
企画政策室市民協働担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 『武蔵野クリーンセンター建て替えに伴う  
緑町周辺の明るいまちづくり!』

## 目 次

1. 発言の要旨	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 新クリーンセンター計画の進捗状況について（要旨）	3
(3) 武蔵野市のコミュニティづくりについて（要旨）	4
(4) 緑町コミセン施設・設備に関するアンケート結果について（要旨）	5
(5) 第1部「より集いやすい緑町コミセンへ」を テーマにした意見交換（要旨）	6
1. クリーンセンター設置場所の持ち回りについて	6
2. コミセンの駐輪・駐車スペースについて	7
3. 市への要望手順について	8
4. コミセンの分室の設置について	9
5. コミセンでのコミュニティについて	10
6. コミセンの施設改善について	10
(6) 第2部「身近な地域の課題について」をテーマにした意見交換（要旨）	12
1. 八幡町コミセン建て替え後の旧施設の利用について	12
2. 高齢者総合センターの施設の利用について	12
3. 都営住宅の未利用地について	13
4. 私有地にある樹木の保存について	15
5. 防災トイレの設置について	15
6. 火災の延焼対策、配水管の整備について	16
7. 道路の舗装等について	18
8. 災害時の避難経路の確保、電線の地中化について	19
9. クリーンセンター近くの住民の健康診断、都営の跡地について	20
(7) 閉会のあいさつ	22
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針	23
3. アンケートでいただいた感想	30

**【当日配布】**

「前回タウンミーティング（第20回平成20年7月）での  
主なご意見とその後の進捗状況」…………… 31

— 付属資料 —

第46回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

## 1. 発言の要旨

### (1) 開会のあいさつ

#### 【市 長】

皆さん、こんにちは。本日はタウンミーティングのほかにも、夕方から各地でいろいろなお祭りが予定されていますが、天気が不安定なのでこのまま晴れてくれればと思っています。

さて、第 46 回目の市民と市長のタウンミーティングにご参加いただきまして、ありがとうございます。また、共催として緑町コミセンの皆さんに協力いただきましてありがとうございます。

このコミセンで行うのは 3 回目ですが、いずれも暑いときでした。前回までもいろいろな意見をいただいております、環境の問題やごみの問題、とりわけこの地域には市役所やクリーンセンターもあるという中で、いろいろな課題もいただきました。大きな団地もありますから、団地に関するさまざまな課題もいただいたところでございます。前回までの課題に対しての取り組みにつきましては、資料を用意してございますので、後でご参考いただければと思っています。

前回のタウンミーティングから大きく変わった点というのは、1 つはクリーンセンターの計画が進んできたということであります。今までも、現クリーンセンターについては、地域の皆さんの大変なご協力により、安全な運転ができたものと思っております。この地に新しくクリーンセンターを建て直すということにつきましても、さまざまなご苦労、ご検討いただいた経過もございますが、それを踏まえて、この計画の実行計画が進んでいるわけでありまして、今年度には、建設、運營業者を選定するという段階になっております。

平成 29 年には新しいクリーンセンターをオープンということを目指してまいりますが、このクリーンセンターをオープンするだけではなくて、同時にこの地域も、より一層魅力的なまちにしなければいけないと思っております。今日のテーマの「武蔵野クリーンセンター建て替えに伴う緑町周辺の明るいまちづくり！」に関しましてさまざまなご意見をいただき、そしてさまざまな解決策を皆さんと一緒に、あるいは市も率先して考えていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

#### 【緑町コミュニティ協議会 越智 正子 委員長】

皆さん、こんにちは。雨も上がって、ほんとうにうれしく思います。

本日は夏休み、それぞれご予定がある中、多数お集まりいただきまして、お礼を申し上げます。そして、この企画にご尽力、協力を賜りました皆さん、ありがとうございます。

このコミセンは、現クリーンセンターと時期を同じくして開設されましたので、クリーンセンターが老朽化、新しい現代的な設備にしたいということであれば、私たちもこのコミセンを建てかえてもらってもいいのではないのか。それは自然に思う願いであります。皆さん、



どうでしょうか。それが私たちのまずはじめの市長へのお願いです。



当時このコミセンができたときには、みんなうれしく思っていました。20 数年たって、エレベーターがなく、ご高齢の方などが2階に行けない、これが現状で、不具合が多々出てきました。クリーンセンターの建て替えに際し、機を逃してはいけないということで、皆さんの意見を交換し、私たちがこれから計画していく検討委員会に大きな糧となればありがたいと思います。

これからも、大人から子ども、老人、そうした中で、これからもっと楽しい、活気ある絆、地域の輪を含めたコミュニティ活動ができればいいのかなと思っています。

今までクリーンセンターの事故はありませんでした。ありがたいと思います。これは、関係者のみならず、私たちの運営協議会を含めた住民の皆さんが、温かく見守ってくれたからではないでしょうか。

私たちは、これからも明るいコミュニティ活動を行っていきますが、そのためのよりよい環境があればとてもうれしいと思うのが、私たちを含めた住民の願いであります。皆さん、この市長との意見交換の場で知恵を出していただき、この貴重な2時間が私たちのこれからの活動に有効な場となることを期待しております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

## (2) 新クリーンセンター計画の進捗状況説明（要旨）

### 【木村環境部参事（兼新クリーンセンター建設担当課長事務取扱）】

皆さん、こんにちは。クリーンセンターの参事を務めております木村と申します。日頃からクリーンセンターの運転管理につきましては、皆様のご協力とご理解をいただきまして、本当にありがとうございます。今日は、タウンミーティングの冒頭として、簡単にクリーンセンターの進捗と今後のスケジュールについてご説明いたします。

先ほど市長が申し上げたように、皆様のご理解とご協力をいただきまして、新施設の計画を着実に進めているところでございます。正面の煙突の東側、こちらに新しい施設をつくります。来年の秋ごろに仮囲いをさせていただいて、工事が入っていくことになっています。そして、本格的な工事は平成26年4月から3カ年を予定しており、平成29年4月に稼働するということになります。

その後、平成29年から30年近くになると思いますが、工場棟を解体しまして、今度は新しい管理棟をつくり、こちらでごみの受付とか見学者の対応をすることになります。両棟は渡り廊下でつなぐような形になります。

こちらの図に仮称エコプラザと書いてあるところですが、ここは今の事務所棟と、プラットホームと書いて、収集車が入ってきてごみを捨てる大きな空間がありますが、ここの部分は残そうということになっております。そして、ここに環境啓発の施設をつくらうということで、今、周辺住民の皆さんもご参加いただいて、周辺協議会というところで、この内容についてご議論いただいているところでございます。

そして、ここの空いているところをイベント広場という形にしまして、自由に使えるような開放的なエリアにしようと考えています。プラットホームのある側は収集車が入って出てきますので、イベント広場のほうは安全を確保しようというスタイルをとる予定です。

このエコプラザにつきましては、大空間のプラットホームや、3階に見学者ホール、食堂などもあり、また事務所スペースとかもございまして、それをどういうふうに配慮するのか、今議論しているところでございます。そして、緑町コミセンの皆さんとどういう連携ができるかという議論を今進めているところでございます。

平成29年4月に工場棟ができて、最終的には緑などの周辺整備を行い、このエコプラザの完成としては平成31年の夏ぐらいになるかと思っております。まだまだ時間がかかる話ですが、周辺の皆さんにも情報提供をしながら、着実に安全に進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。ありがとうございました。



### (3) 武蔵野市のコミュニティづくりについて (要旨)

#### 【森安市民協働推進課長】

コミセンの担当をしております市民協働推進課長の森安です。

今年4月に第五期長期計画が策定され、その中でコミュニティセンターの役割、コミュニティの位置づけというものを記載しております。武蔵野市のコミュニティづくりは1971年にコミュニティ構想が策定されて以来、市民の皆さんのコミセンを拠点とした実質的なコミュニティづくりの活動を行ってきていただいておりますが、第五期長期計画でも、基本的にその考え方に変わりはありません。

しかし、社会の状況はこの40年間に大きく変わってまいりました。少子高齢化の問題などさまざまな課題がありますが、とりわけ昨年3月11日の東日本大震災以降は、地域におけるつながりがすごく大事であることを改めて皆さんも再認識されたと思いますし、私たちもそのことを考えながら行政を進めていかなければいけません。



そのことも踏まえて、地域のつながりを改めてもう一回つくり直していこう、そのためには市民の皆さん一人ひとりが孤立することなく、つながり合っていけるよう、市民の皆さんの話し合いの中で進めていき、これからの武蔵野市にふさわしいコミュニティを再構築していきたいと考えています。長期計画の市民活動の活性化という項目で具体的に書いてありますので、あとでご覧いただければと思っています。

また、同計画では、コミュニティセンターは、市民の活動の拠点、いろいろな世代の方が集う居場所として、より広く利用されるようにするとともに、市民の皆さんが運営していく上での負担感といったものがないようその解消を図るために、コミュニティセンターの機能や役割、管理運営などのあり方について、検討していくことも記載しています。

今年度の事業については、9月、10月ぐらいを目途に、市民の皆さんやコミュニティ協議会の皆さん、それから市民活動を行っているさまざまな市内団体の皆さんへ、コミュニティそしてコミュニティセンターに関するアンケートを実施する予定です。それを踏まえ、昨年長期計画を策定するにあたって無作為抽出のワークショップを行ったように、そのアンケート結果に基づいて無作為抽出のワークショップを行い、市民の皆さんがコミュニティづくりについてどう考えていらっしゃるのか、あるいはコミュニティセンターについてどういったご要望をお持ちなのか、どういうふうにしていきたいと思っていられるのかを抽出していくような調査活動も行っていきたいと思っています。

それから、今年の3月に市民活動促進基本計画を策定いたしました。今後10年間の計画ですが、ここでもコミセンの位置づけとして、市民活動を活性化していただくために、コミセンを今まで以上に十分に活用していただきたいと位置づけています。

#### (4) 緑町コミセン施設・設備に関するアンケート結果について (要旨)

##### 【平田緑町コミュニティ協議会運営委員】

緑町コミセンの平田でございます。緑町コミセンとしても、よりよいコミセンにそして人が集まるようなコミセンにするため、皆さんからアンケートをとりました。本日、集計の一部をお配りいたしました。項目をお読みしながら紹介していきたいと思っております。

利用者が望むリニューアルの考え方といたしまして、5つの項目がございます。

1番目がエレベーター設置と施設全体のバリアフリー化でございます。最近が高齢化が進み、なかなか2階まで上がれないという人が多くなっておりまして、ぜひエレベーターを設置してほしいということが一番大きなみんなの声であります。それとともに、バリアフリー化をもっとして、より使いやすい施設にしていきたいと思っております。

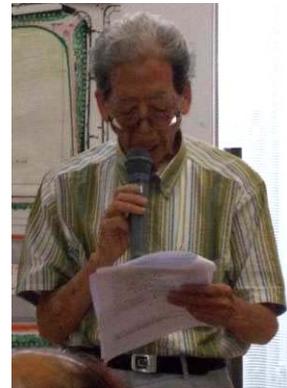
2番目が、避難経路の確保による防災性能の向上でございます。このホールは大変使いよく、ここを中心にみんなが使っておりますが、避難する方向が玄関になっており、反対側のテニスコートには金網があって出られません。そこで、反対側にも防災の観点から避難経路が確保できないだろうかという声が上がっております。

3番目として、周辺施設の利用ということをもっと考えていきたいということです。今度クリーンセンターが建て替えになりますので、エコプラザやイベント広場などについて、どのように使わせていただけるか、またコミセンの利用もしてもらおうかということクリーンセンター側と一緒に研究していきたいと思っております。また、前に緑懇話会で出た意見ですが、高齢者総合センターなどももっと有効的に使わせてもらえないだろうかという声もあります。

4番目といたしまして、駐輪スペースが少ないことです。行事があると常に自転車が満杯になったり、例えば高齢者が車で送り迎えされたときにも止められないという場合もありますので、ぜひクリーンセンターの建て替えに伴いまして、駐輪スペース、車寄せスペースなどを一緒になって検討していただければと思っております。

最後に5番目ですが、安全な歩道、歩行環境ということで、コミセン前の歩道は大変狭くて、自転車とのすれ違いも大変なので広くしてほしいという要望があります。これも今の周辺整備協議会でも話題になっており、何か方法はないかという意見が出ております。

それらを含めて、本当に使いやすいコミセンができればいいなということで、またクリーンセンターや私たちが一生懸命協力して、みんなが使いやすいものになって、みんなが集まれる地域にしていきたい。なかなかまちづくりというのは一挙にできませんので、こういう建て替えのときを機に、ぜひ市にもお願いして、理想的なものに近い施設にするようにご協力をお願いしたいと思っております。



## (5) 第1部「より集しやすい緑町コミセンへ」をテーマにした意見交換(要旨)

### 1. クリーンセンター設置場所の持ち回りについて

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。今回コミセンというテーマだが、ここはクリーンセンターとともに歩いてきているので、単体での話だけというわけではない。現在、クリーンセンターの建て替えの話が進んできているので、このことに関しては特に何も無いが、次の20年、30年後には場所を変えて、いろいろなところへ持ち回りみたいな形で移設していくという考え方も、ひとつあっていいのではと思う。

そうすると、このコミセンが、この場所にはなくなってしまうかもしれないが、それはそれでひとつの考え方としていいのかなと考えている。最初に押し切られてここにつくってしまったから、もうこれでおしまいというわけではなくて、武蔵野市民としてそういった持ち回りも考えて、移設のこともぜひ考えていただきたい。

#### 【司会】

移設をというのは、コミセンですか、クリーンセンターですか。

#### 【ご意見】

クリーンセンターとコミセンというのはペアでくっついているかなと思っているので、両方とも一緒ということです。

#### 【市長】

コミセンの移転について、コミセンとクリーンセンターは機能が違いますので、コミセンはコミセンで地域ごとにぜひ設置するべきだと思っていますので、クリーンセンターの建てかえに合わせてというのはなかなか難しいと判断しています。



このコミセンができて25年になりますが、武蔵野市内の公共施設については、原則として、何か大きな課題がない限りは、なるべく長く使おうと考えています。具体的には50～60年は使っていただきたいと思います。その中でいろいろな足りない点、例えば大きな集会場が足りないとか、そういうことについては、隣にクリーンセンターの建て替えもあって、エコプラザというようなことの予定があるとすれば、それを補完的に使っていただくとか、そういう利用が可能ではないかなと思っています。

クリーンセンターの設置場所については、確かに大きな課題だと思っています。この地域にずっと未来永劫置くつもりはございませんが、これからのクリーンセンターのあり方というのは、実は武蔵野市だけで考えるべき課題ではないと思っています。もう少し広域で一緒に議論すべき課題ではないかと思っています。現時点ではいろいろな課題があって、武蔵野市単独で焼却炉をつくって、当面はそれを使っていこうということがございますけ

れども、その先については、もう少し広域的な連携があつてしかるべきだと思いますし、そういう発言もほかの市長さんたちにも申し上げております。かつ、ごみも焼却すればそれで済むということではないと思いますので、いろいろなごみの処理の方式やごみの減量について、これから前向きに研究していきたいと思っています。

#### 【ご意見】

クリーンセンターについて、緑町三丁目は私も含めてわりとみんなおとなしい人が多いので、無理やりつくられた。一応名目上は住民との話し合いの結果、うまくいったモデルケースとなっているが、そういうものでもないと思う。

自分たちのところにクリーンセンターを持ち込まれて、何年もそこでともに生活していったら、どういうふうにするかということである。それを一方的に、住民との和解によりうまくいっているとか、そういうのに陳腐化させないためにも、30年後とか50年後ぐらいには、ぜひ移設も含めて緑町、武蔵野市全体で持ち回っていくとか、そういった考え方も必要ではないかと思つて話をした。



## 2. コミセンの駐輪・駐車スペースについて

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。コミセンの駐輪スペースの問題だが、実際に撮った写真があるので、ちょっと見てもらいたい。(参加者に順次回す。)

このように駐輪スペースが非常に少ないということが1点、もうひとつは、駐車場の問題である。駐車場といっても常に来館して駐車する目的ではない。いろいろな行事、イベントを行うのに、車で資材等を運び込まなければいけないとき、今はコミセンの前に違法駐車をしている。わざわざかなり遠いところに有料で、コミセンが料金を支払って臨時駐車場を使用しているということがあるので、この2点について検討願いたい。

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。先ほどの駐輪、駐車場のスペースの問題とか、アンケートにある部屋数とか西側の道路について、私が思うに緑町コミセンは何もこの場所になければならないということはないと思う。新しいクリーンセンターの図を見て、エコプラザの中に緑町コミセンができないかと単純に思った。そうすると、イベント広場のところが駐輪場になったり、車寄せになったり、駐車場になったりできるのではないか。

あと、西側に歩道を広げるのは難しいので、東側の敷地の中のほうに歩道を広げればいいのか。

#### 【市長】

駐輪場や荷卸しの駐車場につきましては、もう少し周辺のいろいろな課題を整理しながら

ら、大いに検討が可能ではないかと思っております。歩道の拡幅については、確かに桜の並木があって、すばらしい道であることは間違いありませんが、車道が広いわりには歩道が狭いということもありますので、もう少し歩行者の流れを考えるのであれば、歩道空間が豊かにできないかなどは大いに検討の余地があるのではと思っています。



それから、冒頭のアンケート調査にありましたエレベーターの設置やバリアフリー化については、検討課題だと考えています。本町コミセンでも先月行ったタウンミーティングで、何とかエレベーターの設置をということを言われておまして、何とか検討してみようという答えをしております。

ご高齢の方の利用が増えてきたし、それから乳母車のお母さんたちも2階を利用することもあると聞いておりますので、これについては、市全体のバリアフリー化の検討を進めていきますので、その中でしっかりと位置づけをして、ぜひ議論を進めていきたいと思っています。やはり長く使っていただくからには、必要な改善はしていかなければいけないと思っています。

### 3. 市への要望手順について

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。今までの話について、もう少し時間軸を示してほしい。例えばエコプラザは7年先の話だが、車寄せとか駐輪場は、手っ取り早く具体的に考えられないかとか。アンケートの報告の中では、具体的にどうしようとしているのか見えてこない。7年先まで待つのか、できるところから手を打ってほしいのか、具体的に、市に要求されるのであれば、できるところから提案していったらどうか。

#### 【運営委員】

できるところからやるということができれば、一番いいと思いますので、そのようなことも考えていければと思います。ただ、もともとこのコミセンは狭くてなかなかゆとりがないので、ある程度大きな改革を目指すことを考えなければいけないと思っています。

道路にしても、市の方で一応歩道は広くするという考え方を持っているようだが、できればNTT側のことももっと研究して、どのようにしたら少し広がるかということを考える必要があると思っています。

また、先ほど話には出ていませんでしたが、このコミセンからバス停が非常に遠いことがあるので、コミセンの前を通るバスが欲しいという声もたくさんありました。そういう意味で、バスが通れるだけの道路がこの前にできる必要があるわけです。そういうことも視野に入れて、これからクリーンセンターができるまでの間、研究し、一番いいという案をみんなで作くり上げなければいけないと思います。

それから、先ほど出た都営跡地の問題について、例えばこの場所にテニスコートがあ

りますが、一部は割愛できるのかとか、その辺も考えて研究してみる必要があると思います。これはクリーンセンターだけの問題ではなくて、市全体の問題です。市や市議会にも研究していただくような問題であると思いますので、真剣に、そして焦らずに、着実に研究をしていければいいと思っております。

#### 【市長】

バス利用という点につきましては、コミセンはあくまで地域の方が利用いただくことをメインにしておりますので、コミセンとバスをどこかつなぐというイメージはありません。ほかの地域もそれはあまり考えていないので、この地域全体のバス交通の不便さということであれば、コミセンに限らず、駅に行くのが不便だとかそういうことに関しましては、その解決策については大いに議論の余地があるのではと思っています。

先月末に都営とNTTから、団地を抜けて三鷹に行くルートが一部、皆様の要望もあって開通いたしました。そのような形でいろいろな要望をいただければ、交通機関との調整もあります。何らかの形で解決にも向かっていけるのではないかと思います。

### 4. コミセンの分室の設置について

#### 【ご意見】

この場所に緑町コミュニティセンターをつくった当時は、ごみ焼却炉を市独自でつくらなければならないということで、いろいろ場所を検討した結果、現在の場所にできた。しかし、現在の焼却炉ができるまで、相当反対意見が出て、特にこの近所に住んでいる方たちや道路を隔てた向こうのプールの辺りの方たちも、一緒になって反対運動を起こしていた。

現在、緑町は一丁目から三丁目まであり、一丁目の方はここへ来るのにどうしても二丁目の集合住宅を通ってこなければならない。他のコミセンでは分室みたいなものを持っているところが幾つかあるので、例えば一丁目に緑町コミセンの分室があれば、そこで用を足すことが可能ではないか。

中央公園を歩くと、反対側にこれから壊す建物が4つか5つあるようだが、むしろあの建物を改良して、分室なり本室なりにすればいいのではないか。そういうことをまず考えたうえで、ここをどういうふうにするかということを検討していったらどうか。

#### 【市長】

このコミセンが緑町の地域ではかなり北側にあるということもあって、一丁目の方がなかなか来づらいということですが、そういうことを大いに提案いただきたいと思います。例えば、緑町一丁目でもう少しみんなで集まる場所が欲しいということで、例えば高齢者総合センターの開放の話もいただきましたけれども、それがもう少し柔軟に対応できるかどうかについて、大いに関係各課で議論ができるかと思っています。そういう意味では、今不足しているものについて大いに課題を提案していただき、コミセンと一緒にいろいろな議論を進めていけば、課題の解決に向かっていくのではないかと思います。

## 5. コミセンでのコミュニティについて

### 【ご意見】

境に住んでいる。私は週2、3回緑町コミセンで大変お世話になっている。それは、コミセンで行っている卓球教室と、卓球が終わった後のいろいろなコミュニティがあり、感謝している。

私が感じることは、その都度、受付の方もすごく感じがいいし、麦茶がいつも用意してある。それも、冬は温かくて、夏は冷たくて、よそのコミセンではない。緑町コミセンには、いつも感謝している。

### 【協議会委員長】

明るいコミュニティというのは、それぞれ座っての話だけじゃなく、体を動かすことによっていろいろな考えも生まれてきます。皆さんが運動しながらお茶を飲む、そういったコミュニティが大変大事だと思います。

今日はお見えになっていませんが、89歳の方が卓球をしに来ています。その方が、昨年5月に3カ月、肺炎で入院したとき、私がお見舞いに行って、「卓球やりたいでしょ？」と聞くと「はい」と答え、見事に1カ月で退院し、今年の4月に「また行けるようになりました」とおっしゃっていました。

健康で元気でなければ、まちづくりも何もできません。コミュニティもできません。きずなもつくれません。そういったことで、まず健康管理して、元気で体を動かしてからやることにするのが、一番かと思います。

## 6. コミセンの施設改善について

### 【ご意見】

緑町に住んでいる。緑町コミセンの床や壁がはげており、外壁も汚れている。武蔵野市役所から一番近いコミセンとして、外見も汚い、中も汚い、建て直しもできないのはどうなのか。使う人の身にもなって、やっぱりきれいな方がすてきだと思う。



今はこのフロアをオープンにしているが、閉め切ると、節電もやっているので暗い。そうすると、外壁が汚いとなおさら汚く見える。2階に上がると空気抜けないので、階段を上がるだけで夏はすごく暑い。また網戸が2階にはない。そうすると、全然空気が抜けない状態になっている。もしこのままこのコミセンを使っていくことに決まるのなら、早急に目の見えるところから直していただきたい。

さすがに自宅の玄関とかは、皆さんが来ていただくのできれいにすると思う。周りの立ち木のうっそうと茂っているのも、ちょっと切っていただいて、やはりきれいなコミセンで、長く使いたいと思っているので、その点よろしくお願ひしたい。

### 【ご意見】

緑町に住んでいる。エレベーターの件について、以前にこの階段から後ろ向きで落ちて、

3カ月入院してから亡くなった方がいらっしゃいました。また6月ごろに、ちょうど真ん中の辺から転んで、その方は前向きで落ちたので打撲で済んだんですが、今回は設置の検討をしていただけるというので、大変ありがたいと思っている。

調理室について、ここには調理室はあっても食堂がない。今、ひとり暮らしの方をお呼びして、ここで調理して食事を提供しているが、調理室でつくったものをこのホールに運んで食べている。しかし、遊びに来ている方と一緒にになってしまうので、都合が悪いなど思うことが何度もあった。ひとり暮らしの高齢者の方は外に出てこないということで、そのために一生懸命やっていたらいらっしゃる方がいるので、ぜひ食堂も付設していただければありがたいと思っている。

### 【市長】

各コミセンから毎年いろいろな要望をいただいて、それを整理して、一定の予算の中で優先順位をつけて対応しておりますので、すべての要望についてすぐにはお応えできませんが、何か気づいたことがあったら、これからもぜひご指摘ください。ただ、市役所に近いから優先するということは決してありませんので、これは公平に実施していきたいと思っています。

ただ、新しくスペースを増やす、例えば食堂を増築するとかはなかなか大きな課題になってきますので、もう少し議論が必要ではないかと考えています。当面、今使えるやり方でうまく工夫をして、続けていただければと思います。



## (6) 第2部「身近な地域の課題について」をテーマにした意見交換（要旨）

### 1. 八幡町コミセン建て替え後の旧施設の利用について

#### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。今までいろいろな話を聞いていたが、全く逆の発想で願うする。

私は障がい者で、いつも八幡町の障害者福祉センターにいろいろお世話になっている。現在我々団体の役員会などを役員のマンションで行ったりしているので、八幡町コミセンを解体せずに、障害者福祉センターの分館、多目的ホールとして使わせてもらえないか。

#### 【市長】

現在の八幡町コミセンは築32年ですが、手狭でバリアフリーの観点からの改修も困難な状況であり、コミュニティづくりに支障があるので、建て替えることにしました。コミセンの跡地については、公園として利用しようということで方向を定めているところでございますので、ご理解いただけたらと思います。

### 2. 高齢者総合センターの施設の利用について

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。高齢者総合センターの住民利用についてお願いしたい。



高齢者総合センター

1番目は、先月緑懇話会の開催の際に、市の総合防災訓練への協力依頼ということで、高齢者総合センターの職員が説明しに来たとき、夜間・休日はセンターに職員がいないので、避難者の収容施設としてはすぐには活用できませんという話があった。

私が住んでいる緑町一丁目は、公共施設として高齢者総合センターが一番直近にあるのに、その施設を避難場所として使えないというのは、何かおかしいと思っている。福祉公社に経済的負担をかけるのは難しいかもしれないので、管理方法を市として再検討して、避難場所としての活用ができるように検討してほしい。

2番目は、施設利用について、先ほどのプロジェクトチームの報告の中でも、地域がすごく高齢化が進んでいるということで、コミセンを開催場所にすると来ないという人がほとんどになってしまっている。高齢で歩いていくのはちょっと無理があるので、今は活動拠点として八幡町の社務所とか、東学園にお願いして喫茶室とかを利用しているので、高齢者総合センターの夜間・休日の利用方法の検討をお願いしたい。

#### 【市長】

ちょうど緑町の真ん中に高齢者総合センターがございしますが、この施設利用はご案内のとおり、夜間・休日は閉鎖しておりますので、夜間・休日の利用については課題になっているところであります。一部施設開放ということで、若干は開放させていただいていると思いますけれども、さらなる拡充については、全体の課題もありますが、要望があるとい

うことで、その可能性については研究してみたいと思います。

次の避難所としての役割について、確かに市内にはいろいろな公共施設がございますが、避難所として明確に位置づけているのは市内の小中学校と都立高校2校の20施設です。しかし、福祉的なケアが必要な方もいらっしゃいますので、各高齢者施設等を福祉避難所として位置づけしており、高齢者総合センターにつきましてもその位置づけをしているかと思えます。



福祉避難所での訓練

来週の日曜日に総合防災訓練を行います。今回は中央地区で一中がメイン会場なのですが、向かいにある中央コミセンを、新たな補完的な避難所としての運営をちょっと模索してみようということもあり、モデル的に訓練をしてみます。それと今回、高齢者総合センターとハウスグリーンパークは福祉避難所の役割ということで、そういった訓練をする予定でございます。

常駐で職員はおりませんが、福祉避難所開設の際は職員を配置して対応していく予定になっており、それに向けていろいろな訓練を積み重ねていきたいと思っています。

#### 【ご意見】

施設の管理に関してはそのとおりだと思うが、例えばパークタウンとか都営住宅は既に建て替えが終わっていて、耐震対策は十分だと思うが、緑町一丁目に関しては、私の家も含めて木造家屋が多くある。確かに中央公園に避難すればいいという考え方もあるが、どうせなら屋根のあるところに避難したいというのが人情だと思う。現在夜間管理などは、登録ナンバーキーとか、セコムとかいろいろな方法がとられていると思うが、考え方を変えれば中に入れないことはないと思うので、その辺の管理方法を考えていただきたい。

#### 【市長】

基本的には、先ほどお話ししました20カ所の避難所を頭に入れるのと、ぜひご自宅から最も近い、そして安全に避難できる場所を覚えておいてほしいと思います。緑町一丁目の方でも、学校区域が大野田だからということで大野田に行くということではなくて、五小が近ければ五小に行くなど、臨機応変に対応していただきたいと思います。例えば、火災が緑町一丁目と大野田の間ぐらいに発生したとき、火災の発生していない避難所のほうに向かうというのが大原則ですので、それをぜひ念頭に入れていただきたいと思っています。

その他の公共施設については、今の時点では避難場所として使用する方向性はございません。災害など何かが起こったときの現実問題としては、いろいろなことを加味して、いろいろな利用があり得るのではないかと考えておりますが、原則としてぜひ皆さんにご理解いただければと思います。

### 3. 都営住宅の未利用地について

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。7月29日、無事バスが走った。開通式には70～80名のご高齢の方などもいらして、本当にありがたいと思っている。

都営住宅の未利用地の問題がまだ解決していないので、ぜひ公的な活用を図っていただきたい。中央公園が広域避難場所という役割を負っていることからすると、未利用地の1万平米というのは大変大きな役割を持っていると思う。

あと、緑町の商店街の活性化について、高齢者の方が安心して買い物やおしゃべり、お食事ができるなど本当に楽しいまちづくりに、商店街の活性化は必要だと思うので、ぜひお願いしたい。

### 【市長】

バスの開通については、ぜひ皆さんもご利用いただけたらと思っています。

都営住宅の未利用地については、都有地ですから、市が土地利用を決める役割ではない



のですが、市としては防災機能を持った公園の拡充ができないか要望しているところです。東京都も防災を重視しようということで、都立公園の役割を高機能化していきたいという流れもあり、今のところそういう方向で議論を進めていただいているところでございます。大変期待をしているところですが、まだ正式に都から返事がないので、待っている状態です。今後も見守っていきたいと思っています。

それから、商店街の活性化についてのご意見がございました。グリーンパーク商店街は、私も子どものころから買い物に行っていました。今は多くの皆さんがスーパー、大規模店、コンビニをメインに利用されており、グリーンパークに限らず、各店舗や商店街の経営が厳しい状況になっています。

しかし、先ほどお話しいただいたとおり、地域に近い店としていろいろな役割が大いにあるのではないかと、高齢社会を迎えるにあたって、近所で高齢の方が買えるような商店というのは必要ではないかと思っています。

活性化については、いろいろ議論を進めておきまして、抜本的な打開策がまだまだ見出せない状況ではございますが、いろいろなイベントを通じたり、あるいは宅配などどんな市民サービスができるのかということも含めて、新たな商店街のあり方を商店街の皆さんと、あるいは全体の商店連合会の皆さんと議論しています。

昨年度から始めました企画提案型の事業というのがあり、創意工夫をしているいろいろな提案をいただければ、それを助成していきましようという提案をして、前向きに商店街の活性化をみんなで考えていこうという取り組みも行っております。それらを積み重ねながら、ぜひ地域の商店街の活性化をみんなで支えていただけたらと思っています。

買い物していただければ、商店の活性化というのはあり得ませんので、ぜひ皆さんも地域のお店にぜひ通っていただいて、そこで購入いただければと思っています。

### 【運営委員】

緑町コミセンは新春のイベントのときに、地域で商店街と連携して、むちゅー券（武蔵野市中央地区商店連合会で加盟している店舗で使用可能なお買物券）を景品として出したこともあります。そして、なるべくなら買い物もスーパーではなく、地元のお店を利用しております。

## 【司会】

ありがとうございます。先ほど都営未利用地についてご意見をいただきましたが、別の方から事前にご意見をいただいていたので、ご紹介します。

「平和を未来に伝える場所、その場所は都営住宅完成後の当未利用地の利活用と考える。緑地をつくり、新たに文化、地域の活性化、創造を生み出す施設をつくることは重要である。緑町コミセンの分館として入居用あり、緊急災害を想定すれば備蓄倉庫等々、避難場所等々」といったご意見でした。



## 4. 私有地にある樹木の保存について

### 【ご意見】

緑町に住んでいる。前回のタウンミーティングでも話したが、私有地にある大木の私費による維持管理は、10年に1回ぐらい100万単位でお金がかかっている。私たちは、この緑の大木に大変お世話になっているが、緑町だけではなく、武蔵野市全体の緑に大変お世話になっている。しかし、各個人が100万単位で支出しているため、だんだん木が切られている。以前の回答に研究していきますと書いてあるが、4年以上たっているのので、早く実行してほしい。

### 【市長】

この辺は緑が多いですが、全市的にはそれほど多くはありません。緑被率と申しまして、緑が覆っている割合が、今は25%になりましたけれども、かつては30%を超えていた時代がございました。それがガクンと減って、21、22%に落ちたのですが、このところ数年かけて徐々に回復しておりますので、ぜひその伸びを維持して、かつての緑豊かな武蔵野に戻していきたいと思っています。

だからといって公園を増やせるかということ、なかなか場所がないということもあって、民有地の緑化は大きな課題になっています。市でも、民間の敷地の中にある緑の保全も大きな課題としてとらえておりまして、前回のご意見を受けて、その後も研究を進めてまいりました。例えば昨年も、境の本村公園をモデルとしてアンケート調査とワークショップを行い、どのような形でこの木が維持できるかどうかを意見交換した経過もございます。

今年も保存樹木などを取り上げてアンケート調査を実施して、保全に向けた市民の皆さんのお知恵も拝借しながら、アンケート調査等も踏まえて、具体的な保全の方策、例えば市が税金をかけてやるべきなのかどうか、あるいは地域の皆様にもう少しお力をいただいて、管理にお手伝いいただくかどうかも含めて、その維持の仕方については大いに研究を進めていきたいと思っています。

## 5. 防災トイレの設置について

### 【ご意見】

緑町に住んでいる。私は大野田地域の防災の会も兼任している。ここは大野田小、四中

が避難場所になっているが、その避難場所の管理については、行政でやると角が立つので住民でやってくださいということになっている。地域防災ということで、住民で今度管理をしていくような形になる。

本年度の運動としては、避難所まで行く経路とか、それに対するトイレの場所とか、それからAEDがどこにあるのか、それから非常工具はどこにあるのかというような安全マップをつくらうということで、4月ごろからチェックをしている。

防災トイレというのは、公園のベンチの中にあり、ベンチをあけたらその中にテントがあるが、その防災トイレの確認をしたところ、緑町三丁目、一丁目が非常に少なかった。

北町五丁目は結構小さな公園にもあるので、緑町のふれあい広場公園とか、かしの木公園という身近なところで、防災トイレを整備できるのではと思っているので、ぜひ公園には防災トイレを早目に設置願いたい。

### 【市長】

防災の会の皆さんの取り組みについては、本当にありがたく思っています。ご指摘のとおり、防災トイレという課題がございます。命が守れて、避難ができて、それから避難所で暮らしていくために必要なトイレですので、市では防災トイレの設置について、大変注目をしており、各避難所に設置を進めているところであります。まだまだ全部の避難所に



災害用トイレ

設置できていませんが、順次設置しています。小学校では校庭の端のほう、下水管と直結をするというやり方で行っています。

同時に公園につきましても、改修工事があるときにはなるべく防災機能を加えていこうということで、防災トイレの設置を基本的な設備として導入しておりますので、公園のリニューアルの際には、新たに防災機能が増えるとお考えいただければと思っています。最近の例では、都立武蔵野中央公園においても、東京都が設置し、武蔵野市がいざというとき、管理運営するということになっています。

不足の箇所は、公園の改修に合わせて積極的に増やしていきたいと思っています。

## 6. 火災の延焼対策、配水管の整備について

### 【ご意見】

緑町に住んでいる。市のほうでも防災課の皆さんが最近の各市の災害状況を見て、いろいろなバリエーションを考えながらスケジュール対応というようなシミュレーションを行っていると思うが、災害を見据えたまちづくりをぜひ念頭に置いてほしいと思っている。

2011. 3. 11もそうだが、最近ゲリラ豪雨による水害が起きている。武蔵野市民は心のどこかに、海や大きな河川、山がないので、地震の際に津波や、大雨による山崩れや河川の氾濫もないとタカをくくっているが、最近の状況を見ると、ああいうゲリラ豪雨があった後に水のはけ口がなくて、いつどこで道路冠水が発生するかわからない。

私が言いたいのは、災害に備えるいろいろなバリエーションを考えると、あちこち手をつけなきゃいけないので、まず武蔵野市のことを考えた場合に、町が破壊される原因のひとつは火災ではないかと思う。ある先生が、今後の町づくりに対して提案していたのは、

道路幅が13mあると、向かい側の火事をこちらに延焼するのを食い止められる下地ができるということだった。要するに、広場があればいいということである。

そういうことで市内、特に木造建築がもちろん密集しているところの周りを見ると、とても武蔵野市で、13m道路で囲まれて安全地域は何カ所あるかという話になってくる。これからのまちづくりの中で、道路整備を考える場合には、できる限りそういう幅のある道路をつくってほしい。やはり緩衝地帯を設けるために、公園とまでは言わないが、緑地帯のような空間をつくっていただくと、いざというときの被害は防げるのではないか。

もうひとつお願いしたいのは、以前豪雨があったときに北町のほうで床上浸水があり、畳をごみとして出さなきゃいけないということがあったが、何が問題かという、下水道に水が落ち込んでいっても、その水を受け入れる導水管の径が小さかったため、海へ流す水が逆に陸のほうへ上がってしまったということであった。地下の排水管の整備を行う場合には、できるだけ径の大きいもの、水量が多く流れるものにする必要がある。

このように観点を変えていくと、ある程度武蔵野市の災害安全性は確保できるのかなと思うので、ぜひお願いしたい。

#### 【市長】

ご指摘のとおり、武蔵野市には大きな河川もなく、また海辺でないので液状化も起こりにくいなどいろいろ考えると、極めて大きな災害が起こりにくいと思われがちなのですが、ゲリラ豪雨によって下水が氾濫して、水害被害が起こる可能性の場所があります。

ひとつは、水の問題としては、武蔵野市だけが広い下水管を整備しても、その受け手である下流域が整備されていないと難しい問題です。東京都が全体的に今、整備をしていますし、武蔵野市もそれに向けて整備をしています。

もうひとつは、雨をすぐに下水に流さない工夫が大切です。今、市内の小中学校の校庭に大型の雨水貯留施設を設けています。それから皆様のお宅には、雨水浸透ますの設置をお願いしております。また、道路の舗装も全部雨水浸透性の舗装にしようということで、まちを挙げて雨水を下水になるべく流さない工夫をしているところです。



雨水貯留浸透施設

これらのことで、ゲリラ豪雨が降っても、一度に下水に流れずに、オーバーフローしないような安全を確保していきたいと思っています。

地震に対して何が課題かという、火事であり、それから、建物が倒壊しないことですので、耐震・耐火のまちづくりということも、今声を上げているところでございます。市では、耐震診断と耐震補強の助成を行っていますので、ぜひこれを機に利用していただければと思います。市内の住宅で耐震化率がだんだんと上がってきていますが、まだ8割には達していないので、目標は100%なのですが、数年後の目標は90%を超えることを目指しております。

それから、いざ火災が起きたときに幅広の道路は防火遮断帯になりますので、基本的に都市計画道路を整備していくことによって、そういう機能も備わってきます。今ちょうど調布保谷線、伏見通りが、浄水場の南から先まで整備をされて、一、二年のうちに完成に

なりますが、延焼を防止する道路として役割も担っていけると思っています。

同時に、密集している木造の地域にはなるべくオープンスペースが可能なところは確保していこうと考えております。これからも安心・安全な町、武蔵野を、より一層築き上げていきたいと思っています。

#### 【司 会】

防災の話が幾つか出ましたので、協議会の防災の取り組みを紹介してください。

#### 【協議会委員長】

地域と防災、コミュニティについて、コミセンは何ができるのだろうかと考えています。住民の方は避難所よりも、コミセンに行けば何とかなると考えている方は、多分多いと思っています。しかし、コミセンは避難所としての設備は十分に整っていませんが、的確に情報発信・着信できるようなことは整えております。

昨年の大地震が起きた日、私は北コミセンで卓球をしていましたが、何か虫が知らせたのか、ちょっと早目に、2時半ごろに出たところ、目の前で塀が倒れました。これは何かなと思って、ここにすぐ飛んできました。

まず、私たちは報告・連絡を適宜行いました。そして私たちが常に思っていることは、声が出せるということで、この2階に放送を使わなくても声が聞こえるように、朝と夜、必ず発声練習をしています。そして、朝晩の避難所の開閉。そういったささいなことですけれども、ここはどこが一番安全かなといったときには、この柱の隅っこだとか、常に普段から心がけて、運営委員会などでも意思統一をしております。

#### 【運営委員】

私は、あの日当番で、利用者はお子さん連れのグループがホールに2組、上の和室のほうに2組でした。それで、動こうと思っても動けないわけです。ホールで、「皆さん、とにかく机の下に潜ってください」、「お子さんを抱き締めてください」と上に向かって、大きな声を出しました。そして、地震がおさまったとき、ものすごい恐怖感を味わいました。

市からもすぐ来てくださいました。私は部屋全部見て異常がなかったことを確認しました。倉庫の中までは見なかったのですが、後から「倉庫の中が崩れていたわよ」ということを聞きました。本当にいざというとき、来館者がどこの部屋を使っているか、どの部屋に何名がいるか、どういう状況でいらっしゃるかということを、受付としてきちっと把握しておかなければいけないということも、またひとつ勉強になりました。

## 7. 道路の舗装等について

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。千川上水も路肩の植木は定期的に整備されている状態だが、その道路の舗装部分が傷んでいるということと、コンクリートの塀ですか、枠ですか、それと舗装部分のすき間が広いところ、それに段差があり、歩いていても落ちる、よろけるという場所が結構ある。主にその道から西のほうですね。それから舗装自体が壊れているところもあるので、早く補修してもらえればありがたいと思っている。

あと、町会でもお願いしている市道14号の歩道とか、ふれあい広場のほうを徐々に手を

加えていただいているということで、引き続き市と相談を進めていきたいと思っている。

#### 【市長】

お話の件は、千川上水沿いの散策路の話ですね。実は千川上水自体は東京都のものでございましたが、武蔵野市が移管を受けて、武蔵野市がきちんと整備をしていくことになっています。どちらかというと玉川上水が注目されがちなのですが、大切な上水として千川上水もありますので、今後もこの千川上水の水辺を、いい散歩道として整備していきたいと思っています。



概ね全体の整備計画はできておりますので、これから地域の皆様とご相談しながら、散策路の整備を考えていく予定なのですが、今危険だという課題があるということでございますので、早々に各場所を確認して、必要な対応をしていきたいと思っています。一緒に回っていただいて、ご指摘いただければと思いますので、よろしくお願ひします。

### 8. 災害時の避難経路の確保、電線の地中化について

#### 【ご意見】

緑町に住んでいる。緑町三丁目は、その地図を見てもかなり特殊な地域であり、南側は、ここの北エリアとNTTに囲まれている。先ほどから皆さん言われているような災害時のことだが、この辺はやはり火災が一番危険だと思っている。前にNTTの要塞のような建物があり、裏は千川があり、実際火災になった場合、この41号線が生命線というような状態になってしまう。

市長にお願いだが、NTTに対して、南北に行ける通路、ぜひ中央公園のほうに抜ける道を何とかしていただきたい。あと41号線も、今電柱が立っていて、非常に危険な状態なので、地中化などについて優先的にやってほしい。

#### 【市長】

実は避難というのは、市域の施設だけではなく、特にこの辺ですと西東京市、練馬区と接しておりますので、そちらの情報もぜひ見ていただきたいと思っています。市の地図でも書いてありますが、周辺の施設の避難所も行ってもいいんです。そのときの時点で最も安全に行ける避難所に行ってください。隣接自治体とは協定を結んでいますので、安全に避難していただきたいと思っています。

もうひとつは、この中央公園に限らず、団地一帯が広域避難場所として位置づけられているので、実は中央公園に行かなければいけないというわけでもないんです。団地も公園もいっぱいありますし、耐震性もあるので、この団地周辺を含めて一帯は広域避難場所として位置づけをしておりますので、そちらに来ていただいても大丈夫ですが、イメージ的にはこの中央公園のほうが広がりがあるって、大規模火災のときに避難できると思われています。

現時点では、NTTの研究所の中は日常的には通過ができません。有事のときについて

はどうするかまだ相談してございませんので、今のところはこの前の通りを歩いてパークタウンのほうに抜けて、中央公園に行ってもらおうというルートが基本ではないかと思っています。N T Tは大きな敷地を有しており、災害についてはいろいろ情報交換をさせていただいておりますけれども、周辺の地域の皆さんとの今後の避難を含めた連携の仕組みについては、研究課題として今後、N T Tと情報交換をさせていただきたいと思います。



41号線は、ちょうどコミセンの北側の道かと思いますが、一部N T Tの協力もいただきまして、歩道の設置をしたところがあります。地域の皆様からの要望では、電線の地中化ということもあり、市としましては電線の地中化はできればなるべく多くのところでやりたいところなのですが、なかなか地中化については工事費もかかるということもあって、位置づけとしては、景観整備路線という位置づけをして、順次地中

化を進めております。新設の道路であったり、あるいは中央線の北側に設置する道路であったり、あるいは商店街のショッピングモールのなところなどを予定しております。

この近くでは、中央通りを景観整備路線として位置づけしてございますので、中央通りについては、時期的には明確化はしていないかもしれませんが、数年後に歩道の一部拡幅を含めた桜並木の保全を考えた上での電線の地中化事業を進めていきたいと思っています。

今回クリーンセンターが建て替わるわけでございますので、この周辺の町並み整備という観点から、この市役所、それからクリーンセンター、市営野球場を含めた一帯の景観整備を進めていきたいと思っていますので、ご提案いただきました電線の地中化についても、どこまで可能なのかについては大いに研究を進めていきたいと思っています。なるべく電線は地中化にしたいと思っていますが、コストがかかりますので、全体の税の投入のあり方、それから全市のバランスを踏まえた上で、検討を進めていきたいと思っています。

## 9. クリーンセンター近くの住民の健康診断、都営の跡地について

### 【ご意見】

クリーンセンターの建て替えに関する問題だが、今まで運営協議会があり、そこで住民に対する健康診断とかそういうものもやっていた。今度整備された協議会で、今後どうするかということで質問もされておりますが、その点について、ぜひ一般の、今までの運営協議会に入っていない地域のものも、ある程度みんなが平均的に、平等に健診とかを受けられるような制度にしてもらいたい。

あと、都営の跡地だが、緑も増やすとかの考えもあると思うが、防災関係などもいろいろと考えていただきたい。

それから、都営緑町住宅の空き家は、大分養生もしていないので、屋上など水が溜まり放題でなかなか水が抜けない。あれは古い階段で、水がたまると下から押し上げることが

できないということで、非常に危険である。いつ屋上のふたの部分が壊れて水が流れ出てこないとも限らないので、都には自治会から申し込んでいるが、市でもどのような条件になるのか、都ともよく相談をしていただきたい。

この前は一時、防災警報がその空き家から出ていて、なぜかなということいろいろ調べたら、ちょうどあの建物が廃止になる直前に、各棟に一斉に警報をつけなければいけないということで、つけたばかりで立ち退きしたため、夜中だったけれども、都に来てもらって外したということもある。そういう後の整理もぜひ早目をお願いしたい。

#### 【市長】

現在でもそうなのですが、現クリーンセンターの稼働に伴いまして、地域の皆さんの健康診断を継続しているかと思いますので、今後の新しい施設でも、やはり地域の皆さんの健康を守るという視点は大切なことですので、そのやり方を含めて、今後よく皆さんと協議させていただきたいと思っています。

それから、都営の跡地につきましては、先ほどもお話ししましたとおり、都には要望をし、都も極めて前向きに検討いただいていると思っております。都との様々な関連については、もちろん皆さんから直接お話しいただいて結構でございますが、その状況を市にお知らせいただければ、一緒にいろいろな課題解決に向けて支援していきたいと思っています。

## (7) 閉会のあいさつ

### 【緑町コミュニティ協議会 越智 正子 委員長】



皆さん、長時間にわたり、貴重なご意見、お知恵をいただきまして、本当にありがとうございました。これからこのまちの周辺が立派に整備され、クリーンセンターが無事稼働されることを皆さんと見守っていきたいと思います。これから私たちも改善検討委員会を月1回開催しておりますので、何かご意見がありましたらコミセンの窓口でも運営委員でも構いませんので、どしどしご意見ください。

クリーンセンターと話を重ねて、皆さんのコミュニティがより幸せな場となるよう、これからもがんばっていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

### 【市長】



長時間となりましたが、ありがとうございました。外はもう晴れてきましたので、今日のお祭りも開催できると思いますので、ぜひそちらにも足をお運びいただきたいと思います。

今日はコミセンを中心にいろいろな課題をいただきました。なかなかご提案いただいても、すぐに解決できないものもあるかと思いますが、必ず受けとめまして、対応を進めていきたいと思っています。今日のタウンミーティングに限らず、いろいろな要望、課題はぜひお伝えいただきたいと思います。

コミセンの方から「市長、来てよ」ということであれば、近いですのですぐに行けると思います。臨時のタウンミーティングというか、いろいろな懇談会も含めて、それは大いに結構だと思いますので、ぜひお呼びいただければと思います。

このコミセンを中心に、この緑町がますます皆さんの輪が広がりますことをお祈り申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

## 2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1		クリーンセンターの建て替えの話が進んできている。次の20年、30年後の建て替えの際には場所を変えて、いろいろなところへ持ち回りみたいな形で移設していくという考え方も、ひとつあっていいのではないか。	クリーンセンターの将来のあり方については、第五期長期計画においても「ごみの収集頻度や回収方法等について必要な見直しを行っていくとともに、ごみの減量、技術革新、社会環境の変化を踏まえながら、他の自治体等とも連携し、広域でのごみ処理及び資源化についても研究を進めていく。」と記載しています。  今後のごみ減量や、技術革新、社会環境の変化などを踏まえながら、近隣自治体との広域連携による処理についての研究を進めるとともに、市のごみ処理全体(広域化・分散化、ごみ量、ごみ質、焼却灰の処理、生ごみの資源化等)や他地域での建設用地等の有無など踏まえて検討していきます。
2	クリーンセンターの建て替え	市のランドマークとなるようなクリーンセンターを作ってほしい。市民のよく見える場所にクリーンセンターを作った武蔵野市の判断は適切だったと思う。どこから見てもわかる煙突を！	新しいクリーンセンターは、最善の技術を導入するとともに、地域に溶け込む魅力的なデザインを採り入れて、市民の誇りになるような施設として整備します。  なお、煙突は、内部にある3本の内筒については更新しますが、外側のコンクリートの外筒は既存のものを耐震補強を行って再利用するため、外観上の形状は変わりません。煙突デザインについては、今後、市民参加の協議会等で具体的に検討していきます。
3	クリーンセンターの建て替え	現在の場所で現在の建物、設備をリニューアルして使用した方が良いと思う。行政当局の資金面からも良策と考えるが如何。	クリーンセンターの既存の建物や設備機器の更新については、ごみ処理を継続しながら工事を進めることが極めて困難であるうえ、多くの物理的な制約などにより新設に比べコスト面でも必ずしも有利にはなりません。これらの他、様々な要素も含め専門家や市民を交えて総合的に検討した結果、新設が適切との結論に至ったものです。  なお、既存の事務所棟とプラットホームについては、環境啓発などの施設として再利用を図ります。
4		今までは運営協議会があり、そこで住民に対する健康診断とかそういうものもやっていた。今度整備された協議会で、今後どうするかということで質問もされている。  ぜひ一般の、今までの運営協議会に入っていない地域の人、ある程度みんなが平均的に、平等に健診とかが受けられるような制度にしてみたい。	健康診断のあり方については、今後の新クリーンセンターに向けた運営協議会の準備段階において、環境影響のモニタリング等と合わせて検討していきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
5	コミセンの駐輪・駐車スペース	<p>コミセンの駐輪スペースが非常に少ない。</p> <p>あと、いろいろな行事、イベントを行うのに、車で資材等を運び込まなければいけないとき、今はコミセンの前に駐車をしている。わざわざかなり遠いところに有料で、コミセンが支払って臨時駐車場を使用しているということがあるので、そういう目的の駐車スペースがほしい。</p>	<p>現在は、多数の方のご来館が予想される場合、コミセンを管理運営しているコミュニティ協議会が、駐輪場の整理や駐輪スペースを臨時に確保すること等で対応しています。コミセンは障がい者の方を除き、原則自動車でのご来館はご遠慮いただいています。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、駐輪場や駐車場の課題も含め、緑町コミセンと新クリーンセンターとの連携のあり方については、クリーンセンター建替えに伴う施設・周辺整備の議論の中でも検討を続けていきます。</p>
6	コミセンの分室	<p>一丁目の人はここへ来るのにどうしても二丁目の集合住宅を通過しなければならぬ。他のコミセンでは分室みたいなものを持っているところが幾つかあるので、例えば一丁目に緑町コミセンの分室があれば、そこで用を足すことが可能ではないか。</p>	<p>コミセンは、地域の人口も基準のひとつとして設置しています。すでに全市的にコミセンを配置しており、新規に建設の予定はありません。既存の施設の柔軟な対応等については、大いに議論していきたいと思えます。</p>
7	コミセンの施設改善	<p>緑町コミセンの床や壁がはげており、外壁も汚れている。市役所から一番近いコミセンとして、外見も汚い、中も汚い、建て直しもできないのはどうなのか。</p> <p>また、今はこのフロアをオープンにしているが、閉め切ると、節電もあり暗く、外壁が汚いとなおさら汚い。2階に上がると、階段を上がるだけで夏はすごく暑い。</p> <p>2階には網戸もないので、全然空気が抜けない状態になっている。もしこのままこのコミセンを使っていくのなら、早急に目の見えるところから直してほしい。</p> <p>あと、ここには調理室はあっても食堂がない。今、ひとり暮らしの方をお呼びして、ここで調理して食事を提供しているが、ホールでは遊びに来ている方と一緒にしてしまうので、ぜひ食堂も付設してほしい。</p>	<p>コミセンの改修・修繕については、様々なご要望をコミュニティ協議会や市にいただいています。緊急度、重要度や必要性などを考慮して、コミュニティ協議会と相談しながら順次行っていきます。お気づきの点がありましたら、コミュニティ協議会や市にご意見をお寄せください。</p> <p>すぐに対応できない部分について、当面は運営で対応可能なことを実施してもらうよう、ご意見をコミュニティ協議会にお伝えします。</p>
8	コミセンの非常出口	<p>テニスコートへの非常口設置は、今造ろうと思えば何時でも可能である。</p>	<p>避難経路につきましては、現状で問題はないものと考えています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
9	コミセンの管理運営	<p>コミセンは公共施設であり、管理運営は新陳代謝が必要である。</p>	<p>コミセンの管理運営は、指定管理者としてコミュニティ協議会が行っています。指定管理者の要件として、武蔵野市コミュニティ条例第9条に「誰もが自由に参加でき、役員を民主的な手続により選出しているもの」と規定しています。詳細は各コミュニティ協議会の会則等で決められています。</p> <p>各コミュニティ協議会でも、新しいメンバーの参加に向けた取り組みを行っています。</p>
10	コミセンの役割	<p>コミセンの第2の役割として、高齢者が介護状態になるのを予防する施設のひとつととらえ(軽体操講座は実施済)予防事業ネットワークづくりとすることもよいのではないか。</p> <p>たとえば、緑町コミセンが卓球なら、けやきコミセンはフォークダンスとか、高齢でも元気な人がいつでもどこへでも参加できれば、日常生活の自立支援となり、介護を受ける人数が増えずにすむのではと考える。</p> <p>また、市報あるいはコミセン便りで情報を流すことも必要だと思う。</p>	<p>各コミセンでは、太極拳やウォーキングなど健康づくりや趣味の活動を各コミュニティ協議会が行っています。</p> <p>現在でも市報、コミセン便りなどでお知らせしていますが、今後はコミセン以外の事業も含めて、どこでどのような事業を行っているか、その方にあつた事業を選択できるような広報や情報提供について検討していきます。</p>
11		<p>都営住宅の未利用地の問題がまだ解決していないので、ぜひ公的な活用を図ってほしい。</p> <p>中央公園が広域避難場所という役割を負っていることからすると、未利用地の1万平米というのは大変大きな役割を持っていると思う。</p>	<p>緑町の未利用地は、継続的に都へ積極的な働きかけを行ってきました。その結果、平成24年10月に都から都立武蔵野中央公園に当該地を取込む計画案が示されました。</p> <p>これにより水と緑のネットワーク形成の充実や広域避難場所(グリーンパーク)の防災機能強化が図られ、求められる公園機能、魅力が増進すると考えています。</p>
12	都営住宅の未利用地の活用	<p>平和を未来に伝える場所、その場所は都営住宅完成後の当未利用地の利活用と考える。緑地をつくり、新たに文化、地域の活性化、創造を生み出す施設をつくることは重要である。</p> <p>緑町コミセンの分館として入居用あり、緊急災害を想定すれば備蓄倉庫、避難場所等々が考えられる。</p> <p>多目的に利活用できる施設が必要であり、リハビリテーションを推進する場、文化を生み出す場として、武蔵野市内でも重要な位置である。しかも戦争の傷あとが残っている所でもある。</p> <p>都未利用地は地域の居場所、地域の皆様により運営する施設、新たなコミュニティの在り方としてもぜひとも必要であると要望する。</p>	<p>緑町の未利用地については、継続的に東京都へ積極的な働きかけを行い、平成24年10月に都立武蔵野中央公園に当該地を取り込む計画案が示されました。</p> <p>東京都では現在の武蔵野中央公園が原っぱを特徴としていることから、緑の厚み・広がりを図り生物多様性の確保から樹林地として整備するとしています。</p> <p>現在、都立武蔵野中央公園を含むグリーンパーク(吉祥寺北町5丁目、緑町2・3丁目および八幡町2丁目)は広域避難場所として指定されていますので、今後は防災倉庫の設置を検討するよう都に働きかけたいと考えております。</p> <p>コミセンは、地域の人口も基準のひとつとして設置しています。すでに全市的にコミセンを配置しており、新規に建設の予定はありません。既存の施設の柔軟な対応等については、大いに議論していきたいと思えます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
13	都営住宅の空き家の管理	<p>今空き地、空き家になっていて、大分養生もしていないので、屋上など水がたまり放題でなかなか水が抜けない。古い階段で、水がたまると下から押し上げることができないということで、非常に危険である。</p> <p>いつ屋上のふたの部分が壊れて水が流れ出てこないとも限らないので、都には自治会から申し込んでいるが、市でもどのような条件になるのか、都ともよく相談をしてほしい。この前は一時、防災警報がその空き家から出て調べたら、あの建物が廃止になる直前に、警報器をつけたばかりで立ち退きしたためであった。</p>	<p>都営緑町住宅の空き家棟、5棟については、東京都が平成24年12月下旬より解体工事に着手しています。</p> <p>工事にあたっては、近隣への周知や通学路でもありますので、近隣小中学校への周知徹底をお願いしました。</p>
14	防災トイレの設置	<p>防災トイレは、公園のベンチの中にあり、ベンチをあけたらその中にテントがあるが、確認をしたところ、緑町三丁目、一丁目が非常に少なかった。</p> <p>北町五丁目には結構小さな公園にもあるので、緑町のふれあい広場公園とか、かしの木公園という身近なところに防災トイレを早目に設置をお願いしたい。</p>	<p>公園・緑地リニューアル計画に基づき、公園の改修時には、防災トイレを含め防災機能を考慮した公園の改修を行っていきます。</p>
15	火災の延焼対策	<p>町が破壊されたのは火災だった。今後のまちづくりとして、道路幅が13mあると、向かい側の火事をこちらに延焼させるに食いとめられる下地ができるという考えがある。要するに、広場があればいいということである。</p> <p>市内、特に木造建築がもちろん密集しているところの周りを見ると、13m道路で囲まれて安全な地域は何力所あるのか。これからのまちづくりの中で、道路整備を考える場合には、できる限りそういう幅のある道路をつくってほしい。</p> <p>やはり緩衝地帯を設けるために、公園とまでは言わないか、緑地化のような空間をつくと、いざというときの被害は防げるのではないか。</p>	<p>延焼遮断帯は、道路幅員と沿道の不燃化率の形成状況により、効果を現します。本市の場合、一般延焼遮断帯として機能する幅員11m以上の都市計画道路が1kmメッシュで計画されており、延焼遮断帯の形成状況は、近隣6市を含めた市部の状況で40%以上となっています。</p> <p>市では、区画道路整備事業や狭あい道路拡幅整備事業により、道路上のオープンスペースを確保しています。また、電線類の地中化や延焼防止効果のある植樹帯を設置するなど、防災機能の向上も進めています。</p> <p>市街地における公園・緑地等のオープンスペースについては、ご指摘のとおり、震災時における避難者の安全を確保するとともに、火災の延焼防止を図る上でも重要な役割を担っています。本市においては、公園・緑地1箇所当たりの面積規模を確保することはなかなか難しい状況にはありますが、特に2,500㎡以上の公園の新設や、既存公園の拡充・再整備に努め、オープンスペースを確保していきたいと考えています。</p> <p>また、市立の公園・緑地だけではなく、まちづくり条例に基づき、民間の開発行為及び中高層建築物の建築に対し、公園等の設置の義務付けを行うとともに、生産緑地や屋敷林などの保全にも努めています。</p> <p>公園の改修については、公園・緑地リニューアル計画に基づき、公園の改修時には、防災トイレを含め防災機能を考慮しています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
16	排水管の整備	<p>下水道に水が落ち込んでいても、その水を受け入れる容量の管、導水管の径が小さいと、海へ流す水が逆に陸のほうへ上がってしまう。</p> <p>そこで、地下の排水管の整備を行う場合には、できるだけ径の大きいもの、水量が多く流れるものにする必要がある。</p>	<p>本市の下水道については、早くから整備を進めた善福寺川、神田川排水区では1時間40mmの降雨で整備されていますが、1時間50mmの降雨への対応を目標とする「第二次計画」を策定しています。しかし、雨水の放流先である善福寺川や神田川の改修が完了していないため、河川改修計画に合わせ、整備を進めていきたいとかがえています。</p> <p>また、近年の都市化進展に伴い、雨水が地下に浸透する面積が減少しており、多くの雨水が下水道管に流れ込むことが都市型水害の発生に影響しているため、市内の小中学校への大型雨水貯留浸透施設の設置、透水性舗装、道路雨水浸透ますの設置及び宅内の雨水浸透桝等の設置の推進等、市全体で下水道管へ流れ込む雨水を減少させる取り組みを行っています。</p>
17	防災用の井戸の設置	<p>防災用として、家庭に井戸をお願いしたい。練馬区は市でつけてくれているとの事です。</p>	<p>災害対策用井戸として指定された井戸の所有者または管理者に対し、井戸の1件につき年間9000円の維持管理補助金を交付しています。</p>
18	道路の舗装・整備	<p>千川上水も路肩の植木は定期的に整備されている状態だが、その道路、舗装部分が傷んでいるということ、コンクリートの塀(柵)、それと舗装部分のすき間が広いところ、それに段差があり、歩いても落ちる、よろけるという場所が結構ある。主にその道から西のほうである。それから舗装自体が壊れているところもあるので、早く補修してもらいたい。</p> <p>あと、町会でもお願いしている市道14号の歩道とか、ふれあい広場のほうを徐々に手を加えていただいているが、引き続きお願いしたい。</p>	<p>千川上水は、平成22年5月に策定された「千川上水整備基本計画」に基づき、良好な水辺・親水環境創出を目指しユニバーサルデザインに配慮した散歩路の整備等を進めています。</p> <p>その対象区間は約3.5kmと帯状に長いことから、区間を定め環境整備を実施していますが、利用上支障のある危険箇所は早急に補修するとともに、適切な維持管理に努めます。</p> <p>現在までにクリーンセンター建替えに伴う周辺整備の一環として、市道41号線南側の歩道設置や緑町ふれあい広場内の遊歩道整備などを実施してきましたが、今後もクリーンセンター周辺一帯の整備について市民参加で議論しながら、具体的な検討を進めていきます。</p>
19		<p>千川沿いの歩道の補修(現状の歩道は狭いので危険！！)</p>	<p>利用上支障のある危険箇所は早急に補修するとともに、適切な維持管理に努めます。</p>
20	避難経路の確保	<p>災害時、この辺はやはり火災が一番危険だと思っている。前にNTTの要塞のような建物があり、裏は千川があり、実際火災になった場合、この41号線が生命線というような状態になってしまう。</p> <p>NTTに対して、南北に行ける通路、ぜひ中央公園のほうに抜ける道を何とかしていただきたい。</p> <p>あと41号線も、今電柱が立っていて、非常に危険な状態なので、地中化などについて優先的にやってほしい。</p>	<p>市では、平成24年2月に日本電信電話株式会社情報流通基盤総合研究所(現在は情報ネットワーク総合研究所)と、災害時における被災者の救援等の応急対策及び被災地の支援に対する協力についての協定を締結しています。</p> <p>今後、具体的な協力体制について協議を進めていく中で、避難経路の確保についても相談していきたいと考えています。</p> <p>市道41号線の電柱地中化については、都市計画マスタープラン等の市全体の計画との整合性を図りながら、クリーンセンター建て替えに伴う周辺整備との関連も考慮して検討を進めていきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
21	電線の地中化	景観・防災・福祉などの視点から幹線道路以外にも広げて電柱の地中下を進めてほしい。	電線類の地中化は、平成21年度に策定された景観整備路線事業計画に基づき、優先路線について整備を行っているところです。  優先路線は、事業効果等をもとに総合的に検討し選定しています。
22	違法駐車	多分時間待ちだと思うが、早朝から9時過ぎまでかなりの確率で大型トラックが停車している。道を狭くして大型トラックが停車できなくすれば、歩道を広くすること可能では？	市では、限られた道路幅員の中で可能な限り歩道幅員を確保するなど、歩行者が安全に楽しく歩くことができる道路整備を行っています。  駐停車車両の取り締まりについては、交通管理者である武蔵野警察に依頼することになります。
23	緑町の商店街の活性化	緑町の商店街の活性化について、高齢者の方が安心して買い物やおしゃべり、お食事ができるなど本当に楽しいまちづくりに、商店街の活性化は必要だと思うので、ぜひお願いしたい。	市では現在、商店街の活性化事業として ①新・元気を出せ商店街事業(イベント事業、活性化事業補助) ②特定施策推進型商店街事業(LED化(交換)補助など) ③環境対応型商店街活性化事業費補助金(LED化(新設)補助など) ④企画提案型事業補助金事業 ⑤路線商業活性化支援事業(スタンプ事業など) ⑥装飾街路灯電気料補助事業 ⑦商店会イベント助成事業 を行っています。  今後も、市として商店街の自主的な取り組みを促すような、使いやすい活性化事業を推進していきます。
24	旧八幡町コミセンの施設利用	私は障がい者で、いつも八幡町の障害者福祉センターにいろいろお世話になっている。現在我々団体の役員会などを役員マンションで行ったりしているので、八幡町コミセンを解体せずに、障害者福祉センターの分館、多目的ホールとして使わせてもらえないか。	旧八幡町コミセンは、段差やトイレの構造等のハード面において障がい者が利用する施設としては不十分な面が多くあります。また、旧八幡町コミセンは建設から32年が経過しており、改修も困難なうえ老朽化した施設の維持管理を勘案すると、費用対効果的にも障害者福祉センターの分館として維持するのは困難であると考えています。  跡地は公園として緑を創出していきたいと考えています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
25	高齢者総合センターの施設利用	<p>高齢者総合センターの職員は夜間・休日センターにいないので、避難者の収容施設としてはすぐには活用できませんという話があった。</p> <p>私が住んでいる緑町一丁目は、公共施設として高齢者総合センターが一番直近にあるのに、その施設を避難場所として使えないというのは、何かおかしいと思っている。福祉公社に経済的負担をかけるのは難しいかもしれないので、管理方法を市として再検討して、避難場所としての活用ができるような形で検討してほしい。</p> <p>また、地域がすごく高齢化が進んでいるということで、コミセンを開催場所にすると来ないという人がほとんどになってしまっている。今は活動拠点として八幡町の社務所とか、東学園にお願いして喫茶室とかを利用しているので、高齢者総合センターの夜間・休日の利用方法の検討をお願いしたい。</p> <p>緑町一丁目に関しては、私の家も含めて木造家屋が多くある。確かに中央公園に避難すればいいという考え方もあるが、どうせなら屋根のあるところに避難したいというのが人情だと思う。現在夜間管理などは、登録ナンバーキーとか、セコムとかいろいろな方法がとられていると思うが、考えてほしい。</p>	<p>現在、高齢者総合センターは、高齢者や障害者など専門的なケアを必要とする災害時要援護者に配慮した福祉避難所としての指定をしています。また、夜間・休日も運営されている施設として、緑町1丁目には老人介護保健施設ハウスグリーンパークがあり、同じく福祉避難所として指定しています。</p> <p>災害時においては、ご自宅が無事であればそのまま待機していただき、ご自宅に倒壊や火災の危険がある場合は、一時集合場所・避難所に指定しております市立小中学校または都立高校の計20箇所へ避難していただくようお願いいたします。</p> <p>福祉避難所は、災害時に一般の避難所での避難者の状況を判断したうえで、必要に応じて開設される二次的避難所であり、最初から避難所として利用することはできません。</p> <p>高齢者総合センターの施設貸し出しについては、現在も一部を地域の団体に貸し出していますが、夜間・休日の貸し出しについては、開館に要する費用、職員体制の整備等も必要なことから、今後検討を進めていきたいと考えています。</p>
26	私有地にある樹木の保存	<p>前回のタウンミーティングでも話したが、私有地にある大木の私費による維持管理は、10年に1回ぐらい100万単位でお金がかかっている。私たちは、この緑の大木に大変お世話になっているが、緑町だけではなく、武蔵野市全体の緑に大変お世話になっている。しかし、各個人が100万単位で支出しているため、だんだん木が切られている。</p> <p>以前の回答に研究していきますと書いてあるが、4年以上たっているのに、早く実行してほしい。</p>	<p>市では、民有地の樹木等を守るため、保存樹木・保存生垣制度を条例で規定し、所有者に維持管理の支援として補助金を支給するほか、倒木時の損害を補償するため、市が一括して倒木保険に加入するなど、樹木所有者の負担軽減に努めています。</p> <p>しかし、所有者の高齢化や近隣からの落葉の苦情対応など、その維持管理が所有者に大きな負担を与えてことも認識しています。</p> <p>そこで、高木をどのような形で維持できるか、樹木所有者や近隣住民に対するアンケート調査や職員によるワークショップを実施し、私有地の高木を守り育てるための有効な施策等について検討しており、その検討結果を基に、高木の所有者や周辺の方々の皆様と連携しながらよりよい保全創出のためのしくみづくりを検討していきたいと考えています。</p>

### 3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	地域についてより良い方向をと考え、前向きにお手伝いしていく機会になりました。
2	意欲的なタウンミーティング、今後も勢力的に継続して欲しい。
3	市民の方々が活発に意見を交換し、市長とうまく意見交換ができていたと思います。こういった場が多くなればいいと考えます。
4	市長と意見交換出来て良かったです。
5	市長の考えなど聞けて良かったです。
6	意見交換会良かったが、市長のもう少し具体的に話してほしかった。
7	今回初めて参加させて頂き、日頃考えていた内容等は、以前行われた中に入って居りました。本日はどうも有難うございました。
8	革新的な意見はなかったが、「防災」への高い関心も大変重要だし、市の考え方の一端もうかがえて有意義だった。 今、防災の会で活動しているが、一人ひとりの安全を守るというスタンスを今後とも意識していきたいと改めて思いました。

前回(第20回 平成20年7月12日実施)タウンミーティングでの主なご意見とその後の進捗状況

分類	番号	意見等	報告書での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
環境	1	・太陽光発電の推進についての市の積極的な施策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光などの自然エネルギーの活用と、業務や生活スタイルを見直すなど省エネルギーの推進に努めています。</li> <li>・市庁舎・小学校校舎等施設に、太陽光発電設備を設置。</li> <li>・家庭向住宅用太陽光発電設備の設置費の助成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市関連施設への太陽光発電の設置の継続。今年度は、市立第五中学校に30kw級の太陽光発電システムを設置予定。</li> <li>・住宅用太陽光発電システムを設置した家庭への設置費用助成の継続。</li> </ul>
緑化	2	・桜並木以外に、市を代表する花や木の並木を設置してはどうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在ある市道の街路樹は26路線、2108本、18種類。</li> <li>・グリーンパーク緑地等では、雑木林にある樹種も植樹され、緑のネットワークを作り出しています。</li> <li>・今後も地域の現況や新たな道路の進捗など踏まえながら、緑の質の向上を含め街路樹の整備を進めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、市道の街路樹は31路線、2216本。</li> <li>・ハナミズキ、ケヤキなどを街路樹として植栽。</li> <li>・緑の質の向上を含めた街路樹の整備を継続していきます。</li> </ul>
	3	・私有地にある大木の市費による維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の緑の約65%が民有地。</li> <li>・「武蔵野市緑の基本計画2008」においても、民有地の緑の保全や創出は、大きな課題としている。</li> <li>・大木の保全は、密集した市街地に存在する大木は、落葉や日照その他多くの問題がある。</li> <li>・行政の介入や規制等の強化だけでなく、所有者や地域の負担の解消に向けた支援や啓発を図る施策の展開を研究。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も所有者、近隣の方の高齢化、樹木の成長に伴う維持管理の負担増等、様々なご相談を受けています。</li> <li>・高木に関する検討プロジェクトを立ち上げ、昨年、本村公園をモデルとして、アンケート調査とワークショップを開催。</li> <li>・今年度は民有地の保存樹木等を取り上げ、アンケート調査等を実施。</li> <li>・大木維持に関する所有者や地域の負担の解消に向けた支援や啓発を図る施策の展開をさらに研究していきます。</li> </ul>

分類	番号	意見等	報告書での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
農業	4	・地産地消	・農産物直売所マップの作成、市内産農産物の紹介と直売等PRの実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内での生産量が多い夏野菜のPRとして、夏野菜品評会を開催。(今年度初実施)</li> <li>・農家の栽培技術の向上及び市内産農作物の販売促進が目的。当日は、試食コーナーあり。</li> </ul>
道路	5	・電柱を撤去して自転車道路を設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱の地中化については、事業化を検討中。</li> <li>・道路の幅員自体が大変狭いため、正規の自転車道路を整備するのは難しい状況だが、自転車の走行を促すレーン的なもの等について、整備を検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度に策定した景観整備路線事業計画に基づき、現在早期事業化路線である8路線について事業推進中。</li> <li>・平成22年4月には境南町の「かえで通り」に自転車道を整備。</li> <li>・市内には「かえで通り」のような広幅員の道路は少ないため、法令や基準に合致する自転車道等の整備は難しい。</li> <li>・自転車安全利用講習会等の啓発活動により、ルールやマナーが定着しつつあります。</li> <li>・三鷹駅北口の「文化会館通り」で試行中の路面表示による「自転車通行帯」は、自転車利用者に定着してきています。</li> <li>・今後も、交通管理者である警視庁と連携を図りながら、ハードとソフトの両面から「自転車通行環境の整備とネットワーク化」を検討していきます。</li> </ul>



# 第46回 市民と市長の タウンミーティング

市民と市長が意見交換を行います。  
あなたの声をお聞かせください。

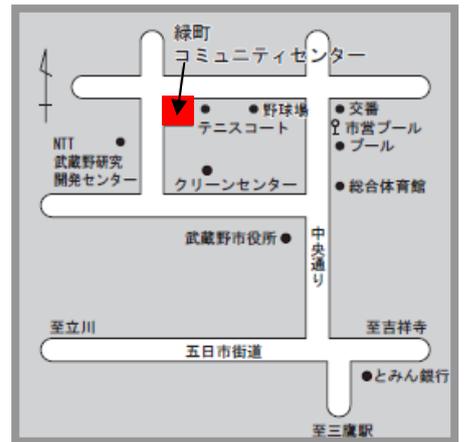
**開催日時**

8月18日(土) 13:30~15:30

**会場**

緑町コミュニティセンター

住所：武蔵野市緑町3-1-17



**テーマ**

「武蔵野クリーンセンター建て替えに伴う  
緑町周辺の明るいまちづくり！」

 申込不要です。当日、直接会場へお越しください。

 お車でのご来場は、ご遠慮ください。

**主催** 緑町コミュニティ協議会 武蔵野市

**お問合せ** 武蔵野市役所 市民協働推進課 (西棟7階)  
TEL 0422-60-1829 FAX 0422-51-2000



## 第46回

# 市民と市長のタウンミーティング

〈テーマ〉



## 「武蔵野クリーンセンター建て替えに伴う 緑町周辺の明るいまちづくり！」

-  より集いやすい緑町コミセンへ  
(地域の居場所づくり、コミセンの役割など)
-  身近な地域の課題について  
(安心・安全、高齢者への見守り・支援、地域との関わりなど)



当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（7階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課（0422-51-2000）にお送りください。

---

---

---

---

第46回

地域別  
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成25年2月  
武蔵野市 市民部 市民活動推進課  
武蔵野市緑町2丁目2番28号  
電話(0422)60-1829 (直通)